Fate/stay night [Heaven's Feel] II.lost butterfly



奏でられた願い

あらゆる願いが叶うという
万能の願望機「聖杯」をめぐり、
魔術師〈マスター〉たちは戦う。
冬木の地で始まった「聖杯戦争」は
数々の脱落者を出した。
謎の影が街の中を暗躍し、
英霊〈サーヴァント〉が次々と倒れる。
衛宮士郎もサーヴァントのセイバーを失い、
マスターとしての権限を奪われてしまった。
だが、彼は戦いから降りようとしない。

この「聖杯戦争」を終わらせるために。
この戦いに人々は何を願うのか。
魔術師としての名誉か。
己が力の誇示か。
世界の真理への到達か。
戦いの渦に呑まれていく
若きマスターたちの
運命は少しずつゆがみはじめる。
そして士郎もまた、あこがれていた
正義の味方のあり方に向かい合うのだった。

「俺は――桜だけの正義の味方になる」

劇場版「Fate/stay night [Heaven's Feel]」
II.lost butterfly いよいよ開幕。

想像をはるかに超える第二章を迎えて

——お2人は劇場版「Fate/stay night [Heaven's Feel] Ⅱ.lost butterfly」(以下、[HF])にどんな想いを抱いて臨みましたか？

下屋　アフレコ前に原作の[HF]をプレイしたのですが、"こんなシーンはきっとあるんだろうな"とか"このシーンはアニメーションでどう描くんだろう"と楽しみなシーンがたくさんあって。アフレコ前に台本が届いたときは、正座をして台本の一ページ目をめくったことを覚えています。私たちが最初にいただいた台本は前半だけで、その前半がすごいシーンで終わっていたんですよ。

杉山　そうでしたね。続きが気になってしかたがなくて(笑)。後半の台本をいただいたら、またすごいシーンで第二章が終わるんです(笑)。ある意味でとても大きなきっかけになるシーンで、演出上も見る人の心をわしづかみにするようなシーンになっていて、とても印象的でした。

下屋　第二章はこのシーンで終わるのか！って(笑)。私の想像をはるかに超える第二章でした。

——アフレコで印象に残っていることはありますか？

杉山　僕が覚えているのは、前半のアフレコに須藤(友徳)監督が液晶タブレットを持ってて、「収録中の合間にも(後半の)絵コンテを描くんです」とおっしゃっていたんです。

下屋　それを見て、奈須(きのこ)先生が「アフレコ現場で絵コンテを描いている監督、初めて見た」っておっしゃっていました(笑)。

杉山　すごい熱意で取り組んでくださっているんだなと感動しました。

下屋　私はその前半のアフレコの後に、後半でどう描かれるのか気になるシーンがあったので須藤監督とお話ししたんです。そうしたら「ちょうど、そのシーンの絵コンテを持っていうんです」とおっしゃってくださって、いち早く見せていただきました。須藤監督の熱意がすごくて、絶賛してしまいました。

——収録中に奈須さんや須藤監督とお話しはしましたか？

下屋　私は収録の休憩時間に奈須さんと須藤監督がいらっしゃるブースに乗り込みました(笑)。第二章には(衛宮)士郎と(間桐)桜が初めて感情をあらわにするシーンがあって、お2人の意図を聞いたうえで、収録に臨むことができました。

——今回、士郎と桜の関係が大きく変わります。第二章のドラマをどのように受け止めていましたか。

下屋　「Fate」シリーズではいろいろなルートがあって、これまで桜はなかなか士郎に振り向いてもらえずにいたんです。今回は士郎が桜を見てくれる。やっと……私はそのときが来るのを十数年待っていたので(笑)、うれしいなという気持ちがありました。でも、2人が想い合ったとしても、そう簡単にはいかない試練があって、何てせつない物語なんだろうとつらかったですね。

杉山　第一章で士郎は桜を異性として意識していくという流れがあったんですが、第二章では、士郎も桜も養子だったという事実が少しずつわかってきて。しかも、それぞれの環境が全然違うことや桜がどんな苦労をしてきたのかを理解していくんですね。士郎は正義の味方になりたいと願っていたけれど、いちばん身近な女の子を救えないのに大勢を救うことができるのかと思いはじめる。桜を選ぶか、その他大勢を選ぶか、正義の味方のあり方を決めることが、桜への想いに重なっていくんです。だからこそ、2人は単純な男女の恋愛感情ではないなと感じています。

下屋　その正義の味方のあり方をめぐって士郎が葛藤しているシーンがあって。ひとつひとつのシーンから、士郎の決意と覚悟が感じられるんです。そういったシーンは台本を読んでいてもつらかったですし、アフレコ現場で杉山さんが演じているのを見て、本当につらかったです。



奏でられた願い

10年以上前から抱いていた想いがついに結実する。「Fate」シリーズで衛宮士郎を担当する杉山紀彰、間桐桜を担当する下屋則子の2人が語る。2人の関係の到達点。

「士郎が正義の味方のあり方を決めることが、桜への想いに重なっていく」杉山

衛宮士郎役
杉山紀彰

shot by HANNA ETOU



間桐桜役
下屋則子

「今回は士郎が桜を見てくれる。やっと……。私はそのときをずっと待っていました」下屋

原点の衛宮士郎と間桐桜の選ぶ道とは

——桜もまた、士郎の想いを素直に喜べない葛藤があるようですね。

下屋　桜も本当は「助けてほしい」と思っているんでしょうけど、我慢強い子なので、自分のせいで士郎の夢を壊してしまうことのほうが怖いんですよね。桜にとっては先輩(士郎)との普通の日常を送りたかっただけなのに、日常を送ることすらこんなにも難しいことなのかと突き付けられたような気持ちです。

——楽しみにしているシーンは？

下屋　アフレコのときの未完成の映像でもすごかったのがバトルシーンでした。第一章のランサーvs真アサシン戦もすごかったですけど、第二章のバトルシーンは尺がもっと長い印象があって、そのバトルシーンが楽しみです。あと雨のシーンですね。第一章のときは雪が降っていましたが、すごくリアルな雪で、空間に奥行きを感じることができたんです。今回は美しく雨が描かれているんだろうなと期待も膨らんでます。

杉山　ufotableさんの映像は美しいのでどのシーンも楽しみなのですが、ひとつ挙げるとすればギルガメッシュが活躍シーンですね。あのシーンがどのような演出になっているのかすごく楽しみにしています。

下屋　私は第一章が公開されたときにアメリカで舞台あいさつをしたのですが、ギルガメッシュの人気がすごく大きかったんですよ。上映中にギルガメッシュが少し出てくるだけで客席が反応していて。第二章をアメリカのお客さんはどんなふうに受け止めてくださるのか……ちょっと心配です(笑)。

——公開時に行なわれる、お2人の舞台あいさつも楽しみです。

下屋　第一章の舞台あいさつでは、須藤監督やufotableのスタッフさんもごいっしょしたんですが、皆さんのお話が本当におもしろくて。何回も舞台あいさつをさせていただいたんですが、映像のこだわりのポイントであったり、現場のエピソードが尽きぬほどあって、私たちもいちファンとして毎回聞いていました。

杉山　そのときの舞台あいさつでうかがったんですがufotableのメインスタッフの皆さんは在籍年数が長くて、これまでいろいろな作品で培った技術を最新作に注ぎ込むというつくり方をされているんだそうです。近藤(光)さん(プロデューサー)が「Fate/Zero」のときにはできなかった表現が、今できるようになった」とおっしゃっていて。第一章が完成した後も、パッケージを出すにあたり、映像をかなりブラッシュアップしているそうです。第二章もさらに迫力を増しているとのことだったので、完成映像を見るのが楽しみです。

——最後に、衛宮士郎や間桐桜を演じるおもしろさをお聞かせください。

杉山　士郎はゲーム「Fate/stay night」の各ルートだけでなく、「衛宮さんちの今日のごはん」や「カーニバル・ファンタズム」という作品で、さまざまな表情を見せています。彼は作品によって役柄を変えていく、劇団TYPE-MOONの役者さんのような印象があるんです。「Fate/stay night」本編の士郎をベースにしつつ、シリーズ作品でいろいろな士郎を演じられるのはおもしろいことだなと感じています。

下屋　「Fate」シリーズのさまざまな作品でいろいろな桜を演じてきましたが、[HF]の桜はすべての原点だと思って演じています。桜と出会って10年以上がたちますが、今改めて原点を演じられることがおもしろいですし、ありがたいことです。ぜひ、[HF]第二章ですべての原点の士郎と桜を楽しみにしてください。

奏でられた願い

Aimer ×梶浦由記 音楽

「もっとAimerさんの歌声を聴いていたい」梶浦

出会いは飛躍をはたす——。
第一章「I.presage flower」主題歌「花の唄」に続き、
第二章「II.lost butterfly」でも梶浦×Aimerの音楽が響く。
前作を超えた「I beg you」はどのように生まれ、どう歌われるのか

Aimerの歌声を前提に生まれた新主題歌

——お2人のコラボレーションは2回目になります。お2人にとって第一章「I.presage flower」の主題歌「花の唄」は、どんな手ごたえを感じた楽曲でしたか。

梶浦　すごく楽しかったです。この作品は間桐桜という女性の内面を描いていく、すごくパーソナル（個人的）な印象がある作品なので、Aimerさんの内面をえぐるような声が合うなと思っていたんです。可能であれば、Aimerさんには第一章だけでなく第二章「II.lost butterfly」もお願いできればいいなと思っていました。今回それが実現して、本当にうれしかったです。

Aimer　ありがとうございます。うれしいです。「花の唄」は、私にとってもすごく大きな存在感がある曲で。ひとりの女性の情念のような思いが感じられる曲だと思います。これまで私はこういう曲を歌ったことがなかったんです。女性的な曲を歌うことがこんなにもゾクゾクすることなんだと、梶浦さんが教えてくださった気がしていて。梶浦さんが書いてくださる曲をもっと歌ってみたいと思っていました。第二章の主題歌を歌うことが決まったときはうれしかったです。

——第二章の主題歌「I beg you」にはどんな思いを込めたのでしょう。

梶浦　今回は連作モノならではのプランニングをさせていただきました。演出と話のなかで第一章、第二章の主題歌はこんな感じ、というイメージがあらかじめあったんです。第一章の「花の唄」は「みんなが桜を愛したくなるような曲」。かわいそうな桜にじんわりとくるような、かわいそうな桜の内面をきちんと描きたいなという気持ちがありました。第二章は最初から、もっと心をえぐるような曲になるだろうと考えていたんです。そう思っていたところに、脚本をいただいて。単純なきれいさではなく、思い切った曲にしないといけないなと。試行錯誤して、今の曲の形にたどり着きました。

——アップテンポでありながら、歌詞がとても激しい内容ですよね。

梶浦　桜は「達観していてドライ」なところがあると思うんです。自分の悲劇におぼれずどこか冷めていて、悲劇は例え自分のことであろうと、突き放して見てしまえばどこかしら滑稽なものになりますから。第二章の曲はあえてポップなリズムにすることで、彼女が自分自身を冷笑しているような要素を入れようと。ビートを効かせて、グルーヴを出して、いろいろ試行錯誤した結果、自分のなかにしっくりきたものが「I beg you」でした。

Aimer　「I beg you」は個人的にものすごく引き出されたものがあって。「花の唄」以上の可能性を感じています。今の自分がこの曲を歌えて本当によかったと思いました。完成した曲をいただいてから何度も何度も聴いていて、何度聴いても飽きないし、発見があるし。自分が歌った曲を、こんなに何度も聴くのは初めてかも。すごく好きな曲です。

——楽曲に関して、梶浦さんからデモテープをAimerさんにお渡しするところから始まるわけですよね。

梶浦　そうですね。私が仮歌を歌ってデモテープをつくりました。うまく歌えなかったんですけど（笑）。

Aimer　それはどういうことですか？

梶浦　ええ、難しい曲だと思います。Aimerさんが歌うことを前提に書いているので、実は、仮歌はAimerさんのイメージで歌っていたんです。

Aimer　そうだったんですね。いや、いろいろな取材で「この曲は難しい」と答えてきたので……（笑）。

梶浦　この曲はそうですね、特にAメロが、リズムも含めていろいろな意味で歌い手さん依存のつくりなんですよ。Aメロはほとんど Aimerさん任せになっています。

Aimer　こんなAメロ、今まで歌ったことがなかったです。

梶浦　今回Aメロをあえてメロディアスにつくっていません。グルーヴを出しやすいと思われる譜割りでAimerさんの声でことばがピンと立つであろう音域を狙ってシラブルをちりばめた感じ。このAメロはAimerさんの声とリズムがあるから成り立つものになっているんです。その分声のインパクトが残りやすいのではと思います。そして自分達も今回はAimerさんの表情で勝負り。曲の表情で終わるという構成にして、聴き終わったときのインパクトをより強調したいなと。

Aimer　そこまで私のことをイメージして曲をつくってくださっているとは知らなかったので、すごく感激してしまいました。レコーディングの前にAメロを意識しない曲いて（笑）、歌詞も意識しながらそうやって、ピアノで音を取ってみて、出会ったことがない動きの音で、今、梶浦さんの思惑をうかがって、謎が解けたような気持ちです。

梶浦　この曲は全体に寒さの強いように、メジャーコードで構成されているんですけど、メロディラインは中東のイメージがあるので、聴いている人は明るいか暗いかよくわからないと思うんですよ。だから、落ちない、どこか突き放されたような感じが出ればいいなと思っていました。

Aimer　さっき「今の自分がこの曲を歌えてよかった」と言ったんですが、昔の私だったらこの曲をコントロールできなかったかもと思うんです。でも今の自分ならこの曲で表現できるなと。そういう場を梶浦さんに用意していただけてうれしいです。

梶浦　レコーディングはすっごくスムーズでしたね。

Aimer　この曲は歌い方の選択肢がたくさんあるので、私はレコーディングのときに梶浦さんにどうやって歌うといいですか？と聞いたんです。そうしたら「フラットな感じもいいかも」とおっしゃって。

梶浦　そうですね、「ドライで突き放した感じで歌ったらおもしろいかもしれないですね」と言ったんです。

Aimer　私も同じ気持ちで。この曲はすごいので、ボーカルはただたたずむだけでも成立するのかなと。でも、歌っていくうちにどんどんエモーショナルになっていって。最終的に「ラスサビ（最後のサビ）は泣いている感じで」と梶浦さんもおっしゃって。

梶浦　「いっちゃえ、いっちゃえ！」という感じでした。

Aimer　難しいからより楽しいというか。最後は「これでもか！」というくらいになりました。歌詞もパワーワードの連続ですし、ずっと殴られているような世界観で（笑）。

梶浦　すばらしかったです。私が言っていた「ドライ」というのはこれくらいだったのかなと感じましたし、イメージしていたところをAimerさんが突き抜けてくださったので、楽しくレコーディングできました。

——梶浦さんは第二章の劇伴（BGM）も担当されています。今回の劇伴には「I beg you」のメロディを使ったものもあるのでしょうか？

梶浦　やっていますね。今回は泣きメロではないのですが、印象的なシーンに「I beg you」のメロディを使っている劇伴楽曲もあります。

——劇伴と主題歌の相乗効果で作品が盛り上がりそうですね。

梶浦　作曲家は楽曲が仕上がって、作品が完成するとひとつのフィナーレを迎えるところがあるんですが、歌い手さんはここからがスタートなんですよね。作品が終わった後も、歌と歌い手さんが新たな関係を結んでいけるような曲でありたいなと思っています。今回は桜という女の子が題材ですが、桜を深く描くほど、人間に根差した普遍性が出てくる。これからAimerさんが歌ってくれることで、この曲の新しい一面が生まれていければいいなと思っています。

Aimer　ありがとうございます。梶浦さんはものすごく歌い手に寄り添ってくださるんです。私、梶浦さんにあこがれているんです。表現者としても、女性としても。今後もこの歌をライブでも歌っていきたいと思います。



「梶浦さんのつくった曲をもっと歌いたいです」Aimer



期間生産限定盤
「I beg you / 花びらたちのマーチ / Sailing」

主題歌である「I beg you」のほか、「花びらたちのマーチ」「Sailing」などを収録。劇場版「Fate/stay night [Heaven's Feel]」スペシャルパッケージは須藤友徳描き下ろしイラストを使用。こちらは3月末までの期間限定生産なのでお早めに！

[illegible]

主題歌「I beg you」 Aimer

ufotableの制作現場でスタッフに直撃取材

奏でられた願い 制作プロデューサー 近藤光×ufotableスタッフ

生成から成熟へ。【HF】第一章でこれまで見たことのない「Fate/stay night」を描いたufotableは、第二章でさらなる地平をめざす。近藤光プロデューサーと13人のスタッフが語る、第二章の映像が生まれる瞬間。

近藤　きょうは劇場版「Fate/stay night［Heaven's Feel］」II.lost butterfly（以下、第二章）の作業が終盤なので現場にスタッフを呼んで、それぞれの仕事を紹介していきたいと思います。

■動画検査
川嶋優香（かわしま・ゆか）
竹田陽介（たけだ・ようすけ）

近藤　最初は動画検査の2人です。

川嶋　ufotableに入社3年目です。動画検査はキャラクターごとに担当があるのですが、私はアーチャーを担当しています。

竹田　僕は入社4年目です。イリヤ（イリヤスフィール・フォン・アインツベルン）を担当しています。イリヤは顔の輪郭を柔らかく描こうと意識しています。

川嶋　第二章はアーチャーの出番が多いので、作画クオリティを守りたいなと思っています。今回はスローモーションのカットがあって、動画の枚数が多いので、頑張ってます！

竹田　イリヤの髪の毛がなびくカットは動画が頑張るカットなので、滑らかに動くように気をつけています。

近藤　彼らは期待の世代なんです。うまい子たちが集まっていて、彼らの成長を楽しみにしています。

■撮影監督
寺尾優一（てらお・ゆういち）
■3D監督
西脇一樹（にしわき・かずき）
■3D CGI
佐藤亨宙（さとう・こうじ）

近藤　「Fate」シリーズでは、おなじみのメンバーの登場ですね。

西脇　僕は7年目です。

寺尾　もうすぐ15年目です。

近藤　撮影部は技術とスキルをずっと積み重ねてきている部署です。そのなかでも新しく加わった、佐藤亨宙くんは、第一章でランサーvs真アサシン戦を担当してくれました。

佐藤　ufotableに入って2年目です。第二章では影の触手の動きなどを担当しています。須藤（友徳・監督）さんいわく「桜の感情を反映してほしい」とのことでした。

寺尾　第一章では影の触手は、機械的な反応だったけれど、第二章では感情が出てくるから動き方が違うと須藤さんがリクエストしていました。

近藤　須藤くんは、やっぱり桜が好きなんだねえ……（笑）。

西脇　第二章は須藤さんのオリジナルパートを3DCGで担当していて、新規でつくっているものもあります。鉄骨とか森とか、物量も多いです。

寺尾　第一章では温かいシーンがいくつかあって、「雨がりの入り口」のような見せ方をしていたんです。第二章では、そこから一歩進んで、展開のシーンでもどこか不安になるような感覚を自然に味わえる画面を、撮影処理で見せようとしています。

近藤　【HF】は冬の話だからね。冬の夜空って黒く見えるしね。

寺尾　そうですね。冬の夜は外を歩くだけで凍えそうになる。そういう生命の危機感を感じられる画面になるといいなと思っています。あと、激しいシーンは「聖杯戦争」のエンタメとして、第一章よりも激しさを感じられるように今、撮影スタッフ一同頑張っています。

■美術監督
衛藤功二（えとう・こうじ）
■美術監督補佐
樺澤侑里（かばさわ・ゆり）
竹内香純（たけうち・かすみ）

近藤　美術のチームです。

衛藤　樺澤さんと竹内さんは第一章でも同じ美術補佐をしてもらっています。樺澤さんは自然物が得意なので、アインツベルンの森などMパート（三浦貴博が絵コンテ・演出を担当するアクションパート）を主に担当してもらっていて、竹内さんは人工物が得意なので衛宮邸の居間や登の部屋を担当してもらっています。

樺澤　3年目です。第二章では士郎が森にいるカット担当しています。

衛藤　第一章では公園の落ち葉を美しく描いてくれて、あれを見て美術補佐をお願いしようと思ったんです。力を入れたのは落ち葉とか……。

竹内　入って5年目です。今作楽しているのは「街」……です。

衛藤　街の全景は竹内さんがベースを描いていて、僕がフィニッシュしています。竹内さんは縁の下の力持ちという立場ですよね。竹内さんは寡黙に長く仕事をしているので、具体的に指示を言わなくてもやってほしいことをだいたいわかってくれるんです。

近藤　衛藤さんが今回、力を入れているところは？

衛藤　第一章では日常シーンで雪が降るという展開になっていましたが、第二章では逆の流れで、積もった雪が少しずつ解けていくという流れがあるんです。背景を見ているだけでも、士郎と桜の関係性の変化が感じられると思います。

■作画監督
島袋リカルド（しまぶくろ・りかると）
塩島由佳（しおじま・ゆか）
佐藤哲人（さとう・てつひと）
秋山幸児（あきやま・こうじ）

近藤　今回の作画監督チームです。きょう彼らのほかにもいるけれど、集まってもらったのはこの4人です。

島袋　入社9年目です。第二章ではBパートの前半、士郎と桜のシーンを担当しています。第一章では士郎の夢のなかで遠坂凛が迫ってくるシーンを担当して（須藤監督から）褒められたので、今回もこういうカットを担当できてよかったなと思います。

塩島　私は入社10年目、「Fate」シリーズでは間桐慎二担当なので（笑）、第二章も楽しく描かせてもらっています。慎二の感情が爆発するところは原画から担当させてもらっていて、後半では作画監督を担当させてもらっています。第一章のときに須藤さんから「【HF】における慎二はこういう人」というメモをいただいていて、それをベースに今回も描かせてもらいました。慎二はいちばん屈折していて、そこが「人間」だなあと感じています。最後は、作品を見ている全員が心をかき乱されるような慎二を描きたいです。

近藤　よかった、うちに塩島がいてくれて。慎二にしっかりと愛情を込めてくれるからありがたいです。

佐藤　入社8年目、ufotable徳島で作業をしています。今回はセイバーオルタとバーサーカーのアクションシーンを担当しました。三浦さんのコンテを映像で表現できるように頑張ったので、楽しんで見ていただければと思います。

秋山　入社7年目です。作画監督としては、冒頭から雨の公園シーン（冬木教会内は除く）を担当しています。雨の公園シーンは原画の滝口（禎一）さんがすごいものを上げてくれたので、早く見てほしいです。

近藤　今回は須藤くんが総作画監督もしていて、桜のカットは必ず須藤くんが手を入れるんです。だから、作画監督のポジションは、最終ランナーの須藤くんに最後のバトンを渡すというか、須藤くんの負担を軽くするための重要なパートだと思います。

■監督
須藤友徳（すどう・とものり）

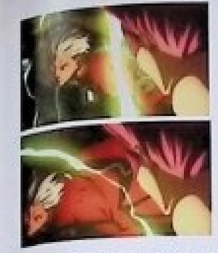
近藤　第一章から引き続き、須藤くんは監督、総作画監督、作画監督、絵コンテ。さっきリカルドが「須藤さんは桜の全カットに手を入れている」と言ってたよ。

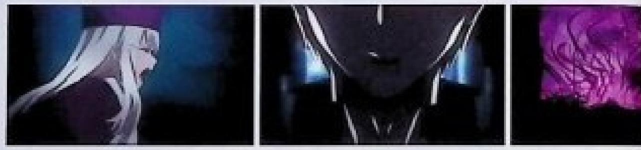
須藤　そうですね。スタッフは第一章をこなしているので、第二章の総作画監督作業をしていても、全修正をすることはなくなりました。「UBW」から【HF】第一章までは少しだけ時間が空いたので、皆さんもすぐに「Fate」の雨を描くのは難しかったのかもしれませんが、第二章では作画監督陣の雨は安心して見ることができています。【HF】は第一章で物語の設定や舞台をかなり描いていて、状況の変化によってキャラクターの置かれている立場が変わり、物語を動かしていきました。今回の第二章ではキャラクターの感情の変化によって物語を引っ張っています。作画スタッフが描く表情芝居やアクションが見せ場になっていますね。3DCGも「こういうのはどうですか？」と提案してくださることが増えていて、僕も助かっています。

近藤　さっき衛藤さんが雪の話をしていたんだけど、須藤くんはそうやって映像のなかのいろいろなものに意味をもたせるよね。

須藤　第二章のテーマのひとつに、「雨が雪を解かす」というものがあるんです。雪は第一章の後半から降りはじめていて、第二章では雨が降っています。そして士郎と桜の雨のシーンが来る。そこまで深い意味を詰めているわけではないですが、雪が雨に解けて、見えてきたものがはたして希望かどうか。今まで見ないようにしていたものが、見えてしまうかもしれない。そこが第二章のおもしろさにつながるといいなと思っています。











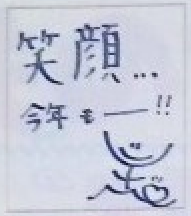
New Year Voice 46

明けましておめでとうございます。
「ニュータイプ」新年初めての号に
ご登場いただいた方々に、
新年の抱負をつづっていただきました。
仕事のことからプライベートなことまで、
気合いを込めて書かれた
目標の数々をご覧ください!



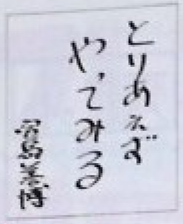
ロード・エルメロイII世の事件簿 -魔眼蒐集列車 Grace note-
あおきえいスーパーバイザー

監督作に『空の境界』『Fate/Zero』『アルドノア・ゼロ』『Re:CREATORS』



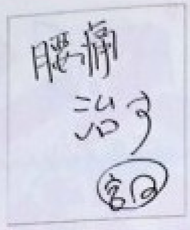
SSSS.GRIDMAN
宮本侑芽(宝多六花役)

出演作に『すのはら荘の管理人さん』(浅見ゆり役)『バミューダトライアングル ～カラフル・パストラーレ～』(アデル役)



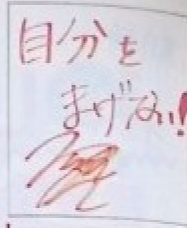
SSSS.GRIDMAN
宮島善博演出チーフ

参加作品に『ニンジャスレイヤー フロムアニメイシヨン』『リトルウィッチアカデミア』



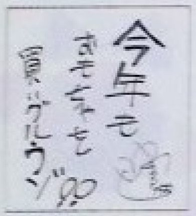
SSSS.GRIDMAN
宮風慎一3D監督

グラフィニカ所属。参加作品に『ハイスクール・フリート』



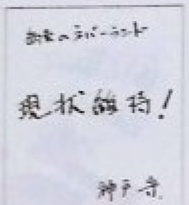
SSSS.GRIDMAN
広瀬裕也(響裕太役)

出演作に『はんだくん』(相沢一役)、『月がきれい』(水野翔役)



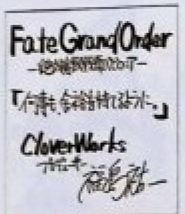
賭ケグルイ××
林祐一郎監督

監督作に『牙狼〈GARO〉-炎の刻印-』、参加作に『ユーリ!!! on ICE』



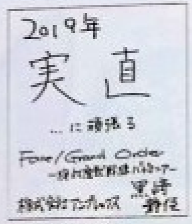
約束のネバーランド
神戸守監督

監督作に『ソ・ラ・ノ・ヲ・ト』『君と僕。』『すべてがFになる THE PERFECT INSIDER』



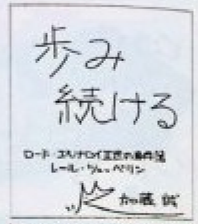
Fate/Grand Order -絶対魔獣戦線バビロニア-
福島祐一プロデューサー

CloverWorks所属。参加作に『ダーリン・イン・ザ・フランキス』



Fate/Grand Order -絶対魔獣戦線バビロニア-
黒崎静佳プロデューサー

アニプレックス所属。参加作に『活撃 刀剣乱舞』、劇場版『Fate/stay night [HF]』



ロード・エルメロイII世の事件簿 -魔眼蒐集列車 Grace note-
加藤誠監督

監督作に『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』『やがて君になる』



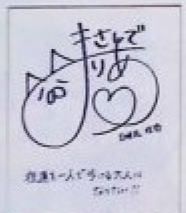
魔法少女特殊戦あすか
洲崎綾(大鳥居あすか役)

出演作に『ひもてはうす』(木根たえ役)、『RELEASE THE SPYCE』(八千代役)



荒野のコトブキ飛行隊
鈴代紗弓(キリエ役)

出演作に『ハイスコアガール』(大野晶役)、『やがて君になる』(叶こよみ役)



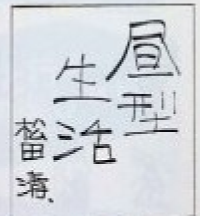
私に天使が舞い降りた!
指出毬亜(白咲花役)

今作が初主演となる。出演作に『ソラとウミのアイダ』([illegible]役)



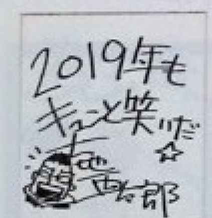
BanG Dream! 2nd Season
柿本広大監督

監督作に『刀使ノ巫女』『CYBORG009 CALL OF JUSTICE』



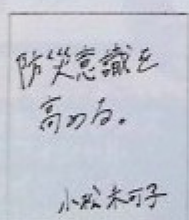
賭ケグルイ××
松田清監督

監督作に『くまみこ』、参加作に『BANANA FISH』『いぬやしき』



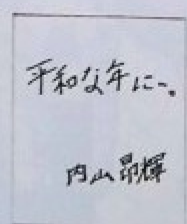
明治東亰恋伽
大地丙太郎監督

監督作に『おじゃる丸』『ギャグマンガ日和』『神様はじめました』『信長の忍び』



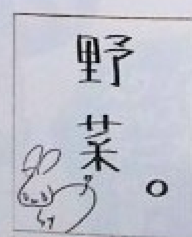
revisions リヴィジョンズ
小松未可子(ミロ役)

出演作に『ゾイドワイルド』(ペンネ役)、『ケムリクサ』(りん役)



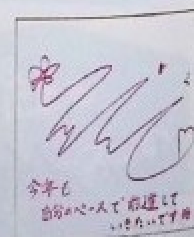
revisions リヴィジョンズ
内山昂輝(堂嶋大介役)

出演作に『風が強く吹いている』(杉山高志役)、『さらざんまい』(久慈悠役)



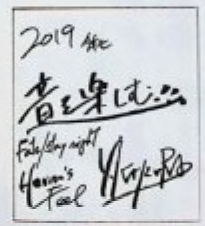
ブギーポップは笑わない
悠木碧
(ブギーポップ/宮下藤花役)

出演作に『からくりサーカス』(コロンビーヌ役)、『ピアノの森』(丸山誉子役)



エガオノダイカ
花守ゆみり
(ユウキ・ソレイユ役)

出演作に『あんハピ♪』(花小泉杏役)、『ゆるキャン△』(各務原なでしこ役)



劇場版『Fate/stay night [HF]』
梶浦由記

参加作に『Fate/Zero』『ソードアート・オンライン アリシゼーション』



劇場版『Fate/stay night [HF]』
Aimer

16thシングル『I beg you／花びらたちのマーチ／Sailing』が好評発売中



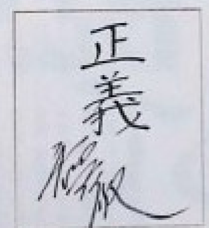
ファイブスター物語
永野護

『ファイブスター物語』のオフィシャルガイド『DESIGNS 6』が2月9日(土)に発売



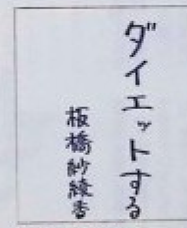
SSSS.GRIDMAN
金子祥之助監督

参加作に『リトルウィッチアカデミア』『[illegible]』



SSSS.GRIDMAN
稲田徹
(アレクシス・ケリヴ役)

出演作に『キルラキル』(蟇郡苛役)、『宇宙パトロールルル子』(オーバージャスティス本部長役)



SSSS.GRIDMAN
板橋紗綾香
モデリングディレクター

グラフィニカ所属。参加作に『Occultic;Nine -オカルティック・ナイン-』



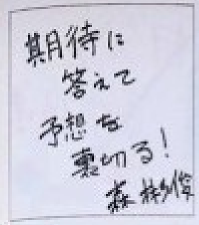
劇場版『Fate/stay night [HF]』
杉山紀彰(衛宮士郎役)

出演作に『NARUTO-ナルト-』(うちはサスケ役)、『Butlers～千年百年物語～』([illegible]役)



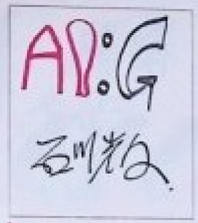
劇場版『Fate/stay night [HF]』
下屋則子(間桐桜役)

出演作に『神無月の巫女』(来栖川姫子役)、『BORUTO-ボルト-』(猿飛モエギ役)



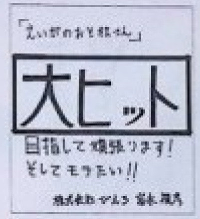
森彬俊

フジテレビ「ノイタミナ」編集長。'18年10月に新枠「+Ultra」を立ち上げた



石川光久

プロダクション I.G 代表取締役社長。同社作品を多数プロデュース



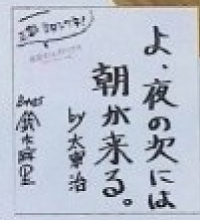
えいがのおそ松さん
富永禎彦プロデューサー

ぴえろ所属。参加作に「おそ松さん」「昴のヨナ」「エルドライブ【ēlDLIVE】」



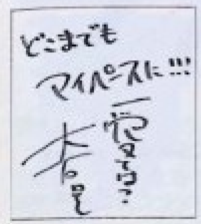
真夜中のオカルト公務員
渡邊哲哉監督

監督作に「宝石のストレイン」「シュヴァルツェスマーケン」「君が望む永遠」



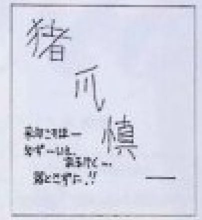
文豪ストレイドッグス
鈴木麻里プロデューサー

BONES所属。参加作に「文豪ストレイドッグス」「SHOW BY ROCK!!」



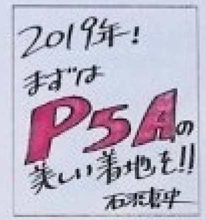
大石昌良

作詞作曲に「けものフレンズ」「月刊少女野崎くん」「SSSS.GRIDMAN」OP



PERSONA5 the Animation
猪爪慎一シリーズ構成

参加作に「SKET DANCE」「昴のヨナ」「GANGSTA.」



PERSONA5 the Animation
石浜真史監督

監督作に「新世界より」「ガラスの花と壊す世界」。参加作に「僕だけがいない街」



松倉友二

J.C.STAFF執行役員。「ハイスコアガール」「プラネット・ウィズ」ほか多数プロデュース



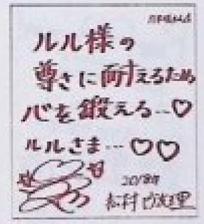
南雅彦

BONES代表取締役。「交響詩篇エウレカセブン」ほか多数プロデュース



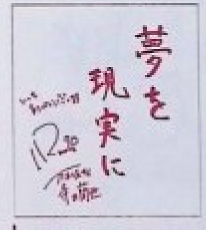
劇場版 幼女戦記
上村泰監督

監督作に「パンチライン」「フリクリ オルタナ」「ダンタリアンの書架」



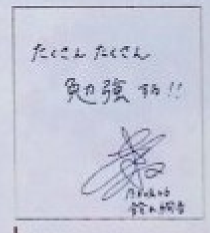
乃木坂46
松村沙友理

乃木坂46一期生。アパレルブランド「R4G」のビジュアルモデル



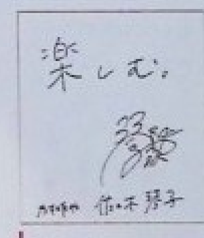
乃木坂46
寺田蘭世

乃木坂46二期生。ミュージカル「美少女戦士セーラームーン」に火野レイ役で出演



乃木坂46
鈴木絢音

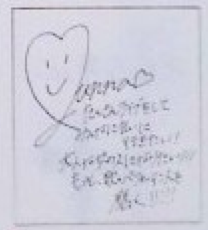
乃木坂46二期生。舞台「けものフレンズ2」にギンギツネ役で出演



乃木坂46
佐々木琴子

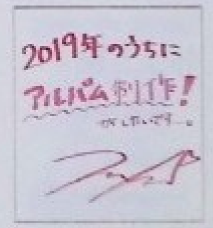
乃木坂46二期生。舞台「けものフレンズ2」にキタキツネ役で出演

New Year Voice 46



JUNNA

「賭ケグルイ××」OP「コノユビトマレ」が1月23日(水)に発売



伊藤美来

出演作に「五等分の花嫁」(中野三玖役)、「上野さんは不器用」(田中よも役)



劇場版 王室教師ハイネ
菊池カツヤ監督

監督作に「アイドルメモリーズ」「[illegible]ナイトブラッド」